

これまでも、これからも、地域とともにともに JAごしょつがるは「総合事業」を展開します

農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組みます。
このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合いを深めます。
そして、「総合事業だからこそ」の強みを生かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

JAは、農業者(正組合員)が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業(JAバンク)、共済事業(JA共済)などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結び付け、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

農業者以外の方で、地域農業の発展や地域づくり、ニッポンの食を応援していただける方は、地域農業の応援団として准組合員として加入していただいております。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業施設投資が可能です。

いわば、農業者と地域農業の応援団で、JAの総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えあっています。

JAごしょつがるの自己改革実施状況

① 「農業者の所得増大」

農産物の安定した取引のため、実需者ニーズに対応した生産振興をすすめつつ、農業にかかるコストの削減に一層努めてまいります。

→【輸出来・加工用米の取組】需要先へ安定的かつ継続的な取引の拡大

→【農業資材のコスト削減】農機具の共同購入や肥料・農薬の低コスト資材の供給

② 「農業生産の拡大」

営農指導を通じた品質向上を図るための生産力強化対策を進め、信頼される産地づくりを目指します。

→【ブランド力強化】たちねふたりんご、つがるブランドメロン など

→【新品種の奨励】ミニトマトやズッキーニなどの軽量野菜の面積拡大

③ 「地域の活性化」

JAは総合事業を通じて、地域の農業をくらしを守り、地域みんなの願いをかなえる取り組みを行うという使命があります。

そのため、組合員組織による仲間づくりや食農教育活動を通じて地域社会へ貢献します。

→地元の小学生への体験学習(バケツ稲や収穫体験)を通じた農業の理解促進

→青年部・女性部による地元イベントへの協力 など